

夏休みが始まります！

本日（7/20）から、41日間の長い夏休みが始まります。近年、コロナウイルス感染症対策で、思うような夏休み生活を過ごすことができないことが続きますね。以前なら、夏休みと言えば、プール、旅行、帰省など、子供たちには、楽しいことばかりでした。ここのところ、またコロナウイルスの感染者が増加し、私たちも非常に心配をしているところです。現段階では、だれが、いつ感染してもおかしくない状況です。くれぐれも、夏休み中の感染には、子供だけでなく、保護者の皆様もお気を付けください。

本日の終業式では、私からの話の中で、クイズなどを行い、夏休み中の体調管理の大切さ、交通事故などに気を付けることなどを子供たちに話しました。ぜひ、御家庭でも、前号でお知らせしました、「早寝早起き」「計画的な生活」「お手伝い」などについて、子供さんと話し合ってみてください。

8月27日（土）の登校日、8月31日（水）の始業式には、みんなが元気で登校できることをお待ちしております！

なお、今年度は、「なぜ、2学期の始業式は、9/1ではないのか？」と不思議に思われた方もいらっしゃるかもしれません。その理由は、1学期の始まりが、従来より1日遅かったからです。4月の曜日の関係で、始業式を1日遅くしたため、年間の出席日数の調整で、8/31を2学期の始まりにしております。計画されているカリキュラムを実行していくためと御理解ください。保護者に皆さんにとっては、1日でも早く夏休みが終わるのは良かったと思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、そういった理由で8/31になっております。

ニュース5・7・5

7/17（日）発行の中国新聞「みんなの広場」の紙面に、次の児童の作品が掲載されました。おめでとうございます。中国新聞の紙面が新しくなって初めての掲載です。今後も、多くの子供たちの楽しい作品をお待ちしております！

雨ふると せんたくものが 泣いている 3年 ^{いしはら}石原 ^{ゆうご}悠伍

1学期最後の作品募集には、何と163句もの応募がありました（2年生：19句、3年生：101句、4年生：11句、5年生2句、6年生31句）。ありがとうございます。作品の中からの選定は、過去の選定にとらわれず、良い作品は、同じ児童でも何度でも選定します。数多く出せば選定されるわけではありませんが、多く作っているうちに、いい作品はできるものです。ぜひ、夏休みの思い出の作品を、登校日や始業式にお待ちしていますので、御家庭でも一緒にお考えいただければ幸いです。

今回の作品は次のとおりです。中国新聞社にも応募します！

あいさつは 相手も自分も 気もちいい 3年 ^{まつもと}松本 ^{ゆい}結愛

朝ごはん しっかり食べて 学校だ	3年	ほんだ <small>りりあ</small> 本田 莉愛
夏休み プールたくさん 泳ぎたい	3年	いしはら <small>ゆうご</small> 石原 悠伍
大さわぎ ふとんの中の 雑談だ	6年	くわもと <small>ゆうり</small> 桑本 結莉
バスの中 みんなの笑顔で あふれてる	6年	のみやま <small>たくや</small> 野見山 拓也

校長の真面目な子育て日記⑱

1学期が終了しました。保護者の皆様は、どんな御感想でしょうか？「もう？」「やっと？」それぞれの受け止めがあると思います。特に、1年生の保護者の皆様には、いろいろな御不安の中、小学校に入学され、勉強のこと、仲間づくりのことなど、御心配も多かったこととお察しします。まだまだ、子どもさんのことが心配で心配で、手も目も離せられない方もいると思います。しかしながら、子供たちも、学級という集団で生活をして、成長をしていきます。社会人になったからと言って、様々な経験をせず、いきなり独り立ちなどできるわけがありません。少しずつ経験をし、成長していくのです。以前（30年くらい前）に、このようなお話を聞いたことがあります。ある町役場に男性が合格し、新任として赴任することになりました。入庁式に、心配だと言って、お母さんが一緒に参加できないかと申し出をされたそうです。現在は、入社式に保護者同伴も聞くことがありますが、当時前歴はなかったのですが、認めたそうです。それ以来、毎日、お母さんの運転する車で通勤して、役場の中まで見送りをされていたそうです。ところが、1カ月もしないうちに、その男性は、役場の人間関係になじめず、退職されたそうです。これは、ほんの1つのケースですので、すべてにあてはまる訳ではありませんが、子供への過干渉と言わざるを得ません。私たちは、どこまで、どのように子供にかかわることが良いのでしょうか？この答えは、簡単ではありません。子供さんの実態によって変わってきます。しかしながら、5歳児への対応、7歳児への対応、10歳児への対応、12歳児への対応は、違って来ないといけませんね。先日、ある方からこんなお話を聞きました。夏休みの勉強や生活のスケジュールは、親が決めてはいけない、必ず子供と一緒に、子供が納得のいくように計画をするべきである！ということです。私も職業柄、我が子にきちんとした計画を立ててほしいために、過剰に関わりすぎる欠点があります。そこで、この3連休に、夏休みの計画を6年生の我が子と一緒に（子供主体で）計画を立てました。自分で決めていくので、「絶対無理じゃろう？」と思いましたが、口出しをせずに、娘としては満足の行く計画を立てることができました。以前なら、「こんな計画できるわけないから、もう一度考え直したら？」という所ですが、我慢しました。やはり、人に言われた計画は、やりたくないものですね。大人は、これまでの経験が豊富なため、良かれと思って、つい口出しをしがちです。失敗をさせることも必要です。時にはしんどい思いをすることも必要だと思います。だめだったら、変更すれば良いのです。本人が、「失敗だった」と感じてほしいと思い、無理そうな計画を印刷し、勉強机の前に貼りました。さて、どうなることでしょうか？長い夏休みも、過ぎてしまえばあっという間です。ぜひ、この夏休みを利用して、子供さんの学年に合った自立の経験の場にしてみてはいかがでしょうか？。。と、「言うのは簡単、やるのは大変」。これは、我が家の最近の流行言葉です。私自身も、我が子に負けないように、夏休みにやるべきことを計画的に進めていきたいと考えています。さて、保護者の皆さん、1学期間大変お世話になりました。この「今日のふむふむ」の御愛読に感謝いたします。保護者のみなさんから、「校長先生、読んでますよ」の声が何よりの支えです。子供たちもこのような「励ましの言葉」がエネルギーです。夏休みには、少しくらいのことには目をつぶり、「できてないじゃん」の声かけよりも「よく頑張ったね」「ここはできたね」の声掛けをよろしく願います！